

本県オリジナルの水稲新品種がR7デビュー

ひょうごの水稲オリジナル品種普及推進協議会

JAグループ兵庫、兵庫県、

(一社)兵庫県農作物改良協会、兵庫県米穀事業協同組合

ひょうごの水稲オリジナル品種の育成経緯と計画

- 地球温暖化が進む中、夏の暑さによりお米が白く濁るなど、品質が低下。
- JAグループ兵庫と兵庫県が共同研究契約のもと、JAグループ兵庫から温室の整備や検査機器の導入等の支援を受け、夏の暑さに強く、おいしい新品種の育成を平成28年からスタート。
- 通常14年かかる品種育成を、温室等を活用し、9年に短縮。
- 令和7年度にキヌヒカりに替わる品種としてデビュー。

<1等米比率の比較(H26~R5)>

	過去10年平均
全国	78.4%
兵庫県	57.2%
キヌヒカリ	36.6%

	H28~R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
キヌヒカリ代替	交配・固定・選抜等 10,000系統 → 5系統 → 3系統 → 2系統			デビュー・一般栽培 → 1系統 150ha → 1,500ha → 4,500ha → 全面転換 ※参考 キヌヒカリ面積4,500ha(R5)						
ヒノヒカリ代替	交配・固定・選抜等						デビュー・一般栽培			
コシヒカリ代替	交配・固定・選抜等									デビュー 一般栽培

① オリジナル品種推進方針



(1) 栽培方法

SDGsの推進や本県が進める環境創造型農業を取組を拡大するため、土づくり、減農薬、減化学肥料の栽培を基本とする。また、種子更新による優良種子の使用、栽培履歴の記帳・提出に取り組む。
県(認証食品)及びJAグループ兵庫の認証取得予定

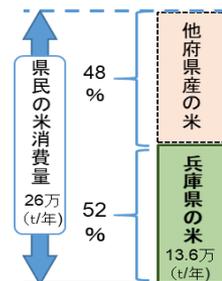
(2) 供給先

兵庫県は米の消費量が生産量を上回る状況を踏まえ、県民に親しまれるよう県内量販店、学校給食等、県内供給を基本とする。

(3) 広報戦略

名称発表や販売開始を契機として、生産者や消費者双方の機運醸成に向けた広報を展開する。

<兵庫県の米流通量試算>



② オリジナル品種販売開始までのスケジュール

令和6年9月末 協議会HP立ち上げ
(<https://hyogo-original-rice.jp/>)
タブロイド紙発刊 公式Instagram開設

10月 育成経緯や推進方針等を記者発表

令和7年 2月 **名称・ロゴの発表**

品種登録出願(1系統に絞る)

5月 新品種栽培開始(約150ha)

9月 新品種収穫(約600t)

秋 一般販売開始

<名称ロゴデザイン>

